

平成30年度第1回 大和市子ども・子育て会議 会議録

日時：平成30年5月15日（火） 午後2時～

場所：大和市保健福祉センター 501会議室

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 委嘱状交付及び委員自己紹介

4. 会長及び職務代理の選出

- ・会長 永井 圭子 委員（委員の互選により選出）
- ・職務代理 鈴木 裕一 委員（会長の指定により選出）

5. 議事

(1) 大和市子ども・子育て支援事業計画及び大和市子ども・子育て会議について

事務局：（資料により説明）

会長： ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

委員：（意見等なし）

(2) 平成29年度事業報告及び平成30年度事業について

事務局：（資料により説明）

会長： ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

委員： 東急中央林間ビル3階の子育て支援施設「きらきらぼし」の送迎ステーション事業について、平成30年4月開始から現在に至る約1か月半の期間において、登録者数は16名とのことだが、この利用状況をどのように考えているかお聞きしたい。

事務局： 定員は40名で考えており、初年度の状況としては見込みどおりです。今後、2年から3年で定員の40名に達するものと考えております。

委員： 保育所の新設や既存施設の定員増等の整備については、4月に実施されているため、特に低年齢児童については、年度途中の入所が難しいと考える。今年度は、10月に1施設の新設を予定しているとのことだが、10月あるいは11月等、年度途中における整備を増やすことで柔軟に対応できるので

はないか。どの程度ニーズがあるか分からないが、年度途中の整備について可能性を探っていただきたい。

事務局：特に低年齢児童については4月の入所ではほぼ定員に達してしまう状況であり、年度途中での入所が難しい状況となっております。

また、待機児童の公表は、4月及び10月に行われますが、ほとんどの自治体で4月よりも10月時点での待機児童数が多い状況となっております。

一方で、事業者としては、年度途中に開所する場合、保育士の確保などが難しいという実状もあることから、市としては保育ニーズに応えられるだけの保育所を整備しながら、年度途中の入所にも対応できる体制を整えていきたいと考えております。

いただいたご意見を参考に、年度途中の整備に対応できる事業者があれば、市として支援をしていきたいと考えております。

委員：小児医療費助成事業について所得制限があるのはなぜか。

事務局：本事業は、子どもたちが必要な医療を経済的な理由で受けられないことがないようにとの考えに基づき実施しており、市の限られた財源を効果的に活用し、安定的かつ継続的に事業を運営していくために、1歳以上のお子様について保護者の方の所得制限を設けております。

委員：所得制限については、所得の高い方の保護者を対象としているが、世帯合算にしないのはなぜか。

事務局：本事業は、神奈川県負担金を活用し運営している事業であるため、神奈川県制度に基づき、所得の審査をしております。なお、世帯合算による審査とした場合、本市独自の制度となるため、神奈川県負担金の対象ではなくなります。

委員：「赤ちゃんまもるくん」とは、どのような仕組みであるか。また、どのように周知しているか。

事務局：予防接種のスケジュール管理や妊娠・子育て中に役立つ子育て何でも応援メール配信を登録できる機能、お子さんの成長記録が残せる電子母子手帳機能等を持つ「らくらく予防接種」というWebサービスを運営しており、このサービスの付加機能として「赤ちゃんまもるくん」の提供を開始したところです。

利用手順については、らくらく予防接種から仮登録をしていただき、その後、市から安否確認の際に必要な緊急連絡先等を記入していただく申請書類を送付し、市へご提出いただくことで本登録が完了します。本登録後は、毎日保護者に安否確認のメールが送信されることとなります。

本サービスの周知については、広報やまことやチラシ等で行っており、特に母子手帳発行時に、らくらく予防接種と併せてPRしております。

委員： サービスを開始したばかりであるが、利用状況を教えてほしい。

事務局： 3名の方が利用しています。

委員： 実際に連絡がつかない場合は、どのような方が駆け付けるのか。

事務局： こども部において輪番体制を組んでおり、発生時は職員が駆け付けます。

委員： こどもの一人下校について、保護者の方が大変心配されており、GPS付きの防犯ブザーを持たせたいとの要望が多く寄せられている。また、地域の方には、児童の登下校時に注意を払っていただいたり、できることは協力したいとの声もいただき、大変温かく見守っていただいている状況である。こどもたちの安全を守る上では、単純ではっきりしたものがよいと考えている。こどもたちが家に帰る時刻については、放課後寺子屋やまとに行ったり、公園で遊んだりと様々であり、例えば時計を見なくてもわかるように帰宅時刻に一斉に音楽を流し、「あの音楽が鳴ったらどの子も家に帰るんだよ」という声かけが地域全体でできるようになるとよいと思う。

事務局： おっしゃるとおり、事業や施設によって終了時刻が様々であります。ご提案については、ご意見として承ります。

委員： 様々な施策が展開されていると感じた。20年程、青少年育成事業に関わっているが、私の年代では、仕事を辞めて主婦をしながら、地域の活動に携わっている方がほとんどであり、今の時代であれば、仕事を辞めずに済んだのではないかと思える内容であった。

(3) 第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画について(報告)

事務局： (資料により説明)

会長： ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

委員： (意見等なし)

6. その他

- ・平成30年度 大和市子ども・子育て会議開催スケジュール

7. 閉会